

ひろばぐみ・たんけんぐみ

2021.06.30

じゃがいも発見！

4、5歳児でじゃがいも掘りをしてきました。

昨年度の3月に卒園児のすなぐみのお友だちが植えてくれたじゃがいもです。

散歩に行ったときにサツマイモや落花生の育つ様子を見る時に、一緒にじゃがいものことも見ていました。

ある日、5歳児から「ひろばにたんけんに行きたい！」という声が上がりました。そこで、作りたい子は当日の朝までに双眼鏡や眼鏡、カメラ等をダンボールや廃材で作って持って行くことになりました。ひろばに着くとダンボールのカメラで写真を撮りながらあそぶ姿がありました。

その時、じゃがいもの葉っぱがだいぶ枯れてきていたので、少しでも土の中を掘ってみることになりました。すると「もうじゃがいも、できてる！！」と言ってじゃがいもができていたことに驚く姿がありました。こどもたちと話して、周りの草取りだけして、次の散歩の時にじゃがいもを掘ることになりました。



1



小さいじゃがいもが出てきたよ

じゃがいも掘り当日。「じゃがいもって新じゃが？」と聞いてきた姿もありました。お店やお家で『新じゃが』というのを見聞きしていたのでしょうか。「今日掘るのは新じゃがだよ。春のじゃがいもは新じゃがと言って、皮が薄くてやわらかくておいしいらしいよ」と伝えると嬉しそうに「早く食べたい」「お腹空いちゃったな」と話していました。

みんなでじゃがいもの畑を掘ってみました。赤いじゃがいもと、男爵芋が出てくると、「大きいのがあった」「小さいのがあった」「赤いのばかりだ」と言いながら土の中を掘ってじゃがいもを探しました。

「こっちには全然ない」「あっちにあるって！」と言いながら探している姿は、まるで宝探しの様でした。

今年は小ぶりのじゃがいもが多く「小さいのがあった」「もっと小さいのもあったよ」と言いながら小さいじゃがいもを手の平に乗せていたり、競うように小さいじゃがいもを見つけたりする姿がありました。じゃがいもは、その後、厨房に届けに行き、おやつのにふかして出してもらいました。

